

科目	週時数
国語・書写	4 時間

目標	よりよい社会の担い手となるため、言葉の多面性を理解し、その表現を深めたうえで、自分の思いや考えを他者と共有し、展開させ、発信する力を養う。	
	知識技能	知識や既習事項をもとに、これまで培った国語の力(「相手や場に応じて話す能力」「表現の工夫を評価して聞く能力」「論理の展開を工夫して書く能力」「文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力)」を活用して課題を解決する。
	思考判断表現	自己を向上させるため、異なる価値観や多様な考え方を受け止めながら、多角的に自らの考えを深め、目的・対象に応じた表現ができる。
	主体性協働性多様性	自ら問いを立て、興味関心に基づいて、考えを深めることができる。 かかわり合い協力しながら、考えを広げ、生み出す喜びを知る。 学習活動を自ら振り返り意味づけることができる。

時期	学習内容	ねらい・目標
1 学期	【現代文】 ・「生命は」～「恩返し of 井戸を掘る」 ・漢字・語句の知識 【古典】 ・万葉/古今/新古今 ・論語 【弁論文】	・表現の工夫や設定の仕方に注意して、作品を読み味わう。 ・場面の展開や表現に着目し、作品を評価する。 ・論の進め方に着目して、筆者の主張を捉える。 ・作品のテーマに関して、判断の根拠を示しながら、自分の意見を述べる。 ・和歌の詠まれた背景や作者の心情を想像しながら、和歌の世界に親しむ。 ・古典の言葉を詠み味わい、自分の文章に生かす。
2 学期	【現代文】 ・「幸福について」～「最後の一句」 ・詩歌の鑑賞 【古典】 ・おくのほそ道 ・漢文のきまり	・文章を読み比べて、論の進め方や表現について評価する。 ・作品を通して、人間や社会について、自分の意見を深める。 ・情報を整理・分析して、より深く捉える。 ・当時の状況や作者の思いを伝え、古典の世界に親しむ。

授業の形態	一斉授業 ペア学習 グループ学習
教科書	『新しい国語3』(東京書籍) 『新しい書写 一・二・三年』(東京書籍)
副教材	『単元別漢字3』(秀学社) 『3年間の総整理問題集』(正進社)
評価の方法	定期試験と平常点(小テスト、提出物、授業態度等)による総合評価
備考	

到達目標	①定期試験	範囲内の学習内容を完全に理解した上で、応用問題や発展問題も完全解答する
	②小テスト	演習を確実に行って全テストの得点率100%を目指す
	③提出物	期限を守って指示された内容の成果物を提出する
	④準備	必要な物品を確実に準備する
	⑤学習態度	聞く姿勢を整え、仲間の学習に貢献し、仲間とともに授業を作る意識を持って毎時間の授業に臨む

知識・技能分野の到達目安	80%	語句・熟語・慣用句の知識を用いて本文の内容を正確に理解する、漢字小テストの完答
	60%	文中の語句の意味を理解する、漢字小テストの80%の解答

※80%＝80点を取るための目安。